

<p>【イベント名】 第44回 APAN 会議 テクノロジー</p>	<p>【概要】 本セッションは12の施設を接続しスムーズに進んだ。非常に実りのあるセッションであり、どの参加者も積極的に議論に参加した。まずはAPANに対する10年間の技術的評価、遠隔心臓超音波検査の診断をテーマとした。次に遠隔ヘルスマonitoringプロジェクトのためのインターネットの応用をテーマとし、最後に知識共有を確約するビデオ会議をテーマとした。次回は本セッションの参加者が最も興味があるもののうちのひとつである、ライブデモンストレーションを予定している。</p>
<p>【期日】 2017.08.28</p>	
<p>【会場】 大連国際金融会議センター（中国）、マラヤ大学（マレーシア）、マレーシア国立大学（UKM）（マレーシア）、清華大学（中国）、チョーライ病院（ベトナム）、国立台湾大学（台湾）、国家実験研究院（台湾）、埔里キリスト教病院（台湾）、九州大学病院（日本）、グアダラハラ大学（メキシコ）、アテネオ・デ・マニラ大学（フィリピン）、スリジャヤワルダナプラコッテ大学（スリランカ）</p>	
	
<p>セッションでチーフエンジニアを務めたMr. Minh。</p>	<p>モニタに映る接続施設。</p>
<p>撮影場所：大連国際金融会議センター</p>	<p>撮影場所：チョーライ病院</p>
	
<p>提示された動画。</p>	<p>提示されたスライド。</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>
	
<p>九州大学病院での会場の様子。</p>	<p>会場の様子をカメラに収めるエンジニアのMr. Wang。</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：大連国際金融会議センター</p>